な　っ　と　く　ん　の

山口県立山口博物館　学校地域連携担当

２０１５年6月8日　　No.１４０

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立博物館ホームページでダウンロードすることができます。

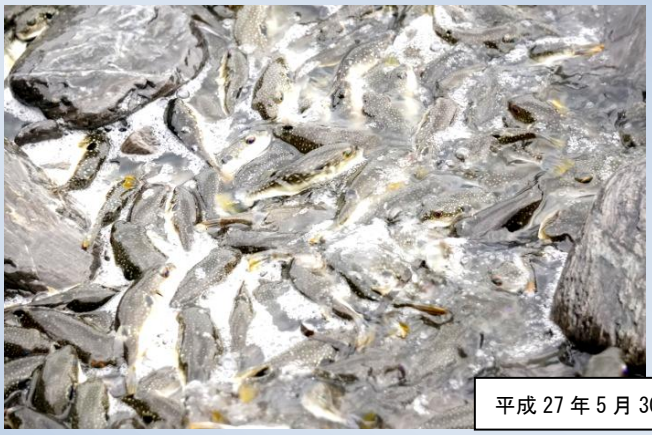
海岸に大集合する魚　～クサフグ～

右の写真は、クサフグという魚です。

特徴　・山口県の沿岸部ではどこでもよく見られます。
・河川中流域の淡水にもいることがあります。
・大きさは約15cm。
・内臓や皮に毒（テトロドトキシン）を持っていて
ほとんど食用にはなりません。

※光のクサフグ産卵地は、山口県指定の天然記念物に指定されています。

なぜ、クサフグは、決まった時期に海岸に集まるのか？



平成 27 年 5 月 30 日　撮影（光市）

集まってくるのは、5月 中 旬 から 7月の 上 旬 の新月か満月の 1～4日前です。

クサフグが集まるのは産卵をするためです。

メスが 卵 を産み、その 卵 にオスが放精して受精します（体外受精）。左 の写真では精液で海が白く濁っているのがわかります。

なかには右の写真のように勢い余って陸にあがってしまうクサフグもいます。そのままでは海に戻れませんが、大丈夫です。産卵が行われるのは、必 ず 満 潮 になる 1～2時間前で、産卵活動が終わると海面が上がって、陸上にいるクサフグも海の中に戻ることができます。

潮が引いたり、満ちたりすることを産卵にうまく利用しています。

お願い：クサフグが産卵する時は、まず、オスの偵察隊が、産卵する場所の安全を確認して、そのあとに他のクサフグが集まってくるといわれています。産卵の見学に行くときには静かにしましょう。（産卵がはじまるまでは離れたところに居ましょう。）